

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2022
10月号
No.756



トラクタに試乗する参加者(徳島県鳴門藍住農業支援センターにて)

マンスリーレポート ————— 2

- ・ツーリズムEXPOジャパン2022
- ・女性農業者のためのスマート農業機械紹介
- ・「ウルトラファインバブル」、「アジャスタブルスプレーヤ」講習会
- ・京都の小学生が農産物の食育学習
- ・「土壌に関する研修会」堆肥を用いた土づくりと施肥コスト低減

旬の野菜でおうちごはん ————— 6

- ・蓮根のツナマヨあえ

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ————— 7

- ・その④ ～いち・にい・さん・しいたけ～

交通安全のお知らせ ————— 7

- ・夜間の交通事故防止について～早めのライト点灯を～

トピックス ————— 8

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～徳島県産スタチの消費拡大に向けて～

ツーリズムEXPOジャパン2022

9月24日～25日の2日間、当県本部および徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会は徳島県とともに東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された総合観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2022」(主催＝日本観光振興協会など)に参加し、県産スタチをPRしました。

当イベントには、世界78カ国の国と地域、1000を越える企業や団体が出展し、2日間で約80000人の来場者で賑わいました。

徳島県ブースでは、すだち大使の河野さんとすだちくんが観光アカウント「阿波ナビ」のSNSをフォローしていただいた来場者に、スタチ3玉入り1袋またはザ・キャロット1缶のいずれかをプレゼントしました(2日間でスタチ1000袋とザ・キャロット100本)。プレゼントには行列が出来るなど、イベント期間中は多くの来場者に徳島県産スタチの魅力をPRしました。



来場者へスタチをプレゼントするすだち大使の河野さん



徳島県の魅力をPR!
すだち大使の河野さんとすだちくん



SNSをフォローしていただいた来場者へ
プレゼント



パンフレット等を配布



ブースを訪れた来場者へ県産品をPRする担当者



多くの来場者へ
スタチのPRを行った
徳島県ブース

～仕事の負担軽減働き方改革へ

女性農業者のためのスマート農業機械紹介

9月5日、徳島県鳴門藍住農業支援センターは、板野郡藍住町の同センターおよび隣接圃場において「女性農業者のためのスマート農業機械紹介」研修会を開催しました。

これは、スマート農機の実演や体験を通して女性農業者に「最先端の農業技術」や操作方法等を学んでいただき、これを活用することで、携わる仕事の幅を広げてもらうことを目的としています。当日は、阿波アグリガールズラボ、阿波スピカ、鳴門藍住生活交流協議会などの女性農業者と国、県、全農本所徳島農機事務所ら関係者約35人が参加しました。

農機メーカーによる、水・育苗管理の負担を軽減させる「水田ファーム」・「ハウスファーム」の他、直進アシスト機能付きトラクタ(株式会社サセキ中四国)、アシストスーツ(港産業株式会社・港テクノシステムカンパニー)、ロボット草刈り機(ハスクバーナ・ゼノア株式会社)など、作業の自動化や労力の軽減につながる農機の実演と体験がおこなわれました。

参加者は、実際にトラクタに試乗したり、アシストスーツを着用して物を持ち上げるなど、最新の技術による利便性を体感し、スマート農機にたいへん興味を持たれたようでした。

また、中四国農政局生産部生産技術環境課の加藤新技術実装補佐からは「スマート農業の展開について」と題して講演がおこなわれ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



講演の様子



アシストスーツを体験する参加者



トラクタに試乗する参加者

～新技術やアイデア農機を紹介～

「ウルトラファインバブル」、「アジャスタブルスプレーヤ」講習会

9月21日、JAあわ市は全農本所徳島農機事務所の協力のもと、同JA会議室で「可視化できないほど微小な泡(ウルトラファインバブル)」および「除草剤散布機(アジャスタブルスプレーヤ)」の講習会を開催し、JA担当者、県、メーカーなど関係者15人が参加しました。

講習会では、株式会社丸山製作所四国営業所の木原所長より、同社が開発した、可視化できないほど微小な泡で浸透を良くし、作物の成長能力を最大限に引き出すMUFB(マルヤマ・ウルトラ・ファイン・バブル ※『 $0.1\mu\text{m}=100\text{nm}$ 』)の紹介や導入事例などの説明がおこなわれ、その後、同JA玄関前で実演がおこなわれました。

また、株式会社ロブストスの高垣社長からは、アジャスタブルスプレーヤの説明と実演がおこなわれ、様々な圃場で除草剤散布が正確に素早くできる機能を確認していました。

講習を受け、同JAでは育苗センターでMUFBの実証を今後おこなうことになっており、アジャスタブルスプレーヤについても、ブロッコリー生産部会で紹介し、圃場で実演される計画が進んでいます。

※ $1\mu\text{m}$ (マイクロメートル) $=0.001\text{mm}$
 1nm (ナノメートル) $=0.000001\text{mm}$



講習会の様子



ウルトラファインバブルの実演・説明を受ける参加者



アジャスタブルスプレーヤの説明を受けながら試すJA職員

マンスリーレポート

～栽培体験を通して食の大切さを伝える～

京都の小学生が農産物の食育学習

当県本部は、子どもたちが農産物の栽培体験を通して食の大切さを学び、健全な食生活を実践できる人に成長することを支援するため食育学習会を実施しています。

◆9月6日

京都青果合同株式会社、京印京都南部青果株式会社、徳島県関西本部、JA徳島市に協力をいただき、京都市右京区の京都市立梅津北小学校においてブロッコリーの食育授業をおこないました。

《京都市立梅津北小学校》

・参加者：5年生54人

・学習内容：ブロッコリーの食育、定植

10:45～ JA徳島市の佐藤職員がオンラインで徳島県の農産物の紹介や定植時期、定植方法、栄養素や美味しい食べ方などを紹介。

11:20～ 植え付け体験

校内の圃場で徳島県関西本部中野係長が定植方法を説明。生徒一人ひとりに苗を配布し、中野係長、京都青果合同株太田係長、大阪事務所平嶋職員の補助のもと植え付け。

12:20 終了

虫がついた時の対策や収穫時期の見極め方法などの質問が出されるなど、生徒たちはブロッコリーにとっても興味を持ったようです。圃場では、楽しく植え付けをおこなっていました。



オンライン授業の様子



植え付けを行う生徒



苗を配る大阪事務所の平嶋職員

◆9月22日

京都青果合同株式会社、徳島県関西本部、タキイ種苗株式会社、JA里浦に協力をいただき、京都市下京区の京都市立光徳小学校と中京区の市立朱雀第三小学校で大根の食育授業をおこないました。

《京都市立光徳小学校》

・参加者：5年生59人

・学習内容：大根についての食育、播種

9:40～ JA里浦の坂東職員が光徳小学校と朱雀第三小学校をオンラインで繋ぎ、徳島県の圃場の特徴や大根の美味しい食べ方や播種とその後の育て方などについて説明。

10:25～ 播種体験

雨の降るなか、5年生に校内の圃場で関係者補助のもと播種をおこなった。

生徒たちはペットボトルの蓋を使い、畝に穴を開け丁寧に播種をおこなった。

11:10 終了

生徒たちからは、収穫方法や害虫対策などの質問があり、とても熱心に勉強していました。また、圃場では楽しそうに播種のしかたを学びました。



オンライン授業の様子



播種を行う生徒

《京都市立朱雀第三小学校》

・参加者：5年生44人

・学習内容：大根についての食育、播種

9:40～ JA里浦の坂東職員が朱雀第三小学校と光徳小学校をオンラインで繋ぎ、徳島県の圃場の特徴や大根の美味しい食べ方、播種とその後の育て方などについて説明。

11:30～ 播種体験

天気も回復し、5年生は校内の圃場で関係者補助のもと播種をおこなった。

生徒たちはペットボトルの蓋を使い、圃場に穴を開け播種をおこない、ジョウロでたっぷりと水やりをおこなった。

12:15 終了

「収穫が楽しみ」と生徒たちからは大変満足してもらえたようです。今回の体験で食の大切さを学んでもらえました。



説明を受ける生徒



播種を行う生徒

～令和4年度徳島地区農村青少年講座研修～

「土壌に関する研修会」堆肥を用いた土づくりと施肥コスト低減

9月8日、名西郡石井町の徳島県立農林水産総合技術支援センターで、アグリクラブ徳島、徳島県東部農林水産局が主催する、令和4年度徳島地区農村青少年講座研修「土壌に関する研修会」が開催され、当県本部もこれに参加し、土づくり肥料の有用性を説明しました。

この研修会は、担い手に堆肥を用いた土づくりの技術を提案し、栽培技術の向上や肥料コストの低減など担い手の技術や経営の支援を目的に開催されました。

研修会では、開発肥料株式会社営業部技術顧問の甲谷氏より「堆肥を用いた土づくりと施肥コスト低減」と題し、①緑肥作物の活用技術、②堆肥の正しい使い方についての講演がおこなわれました。

甲谷講師からは、緑肥作物を活用すると土壌の化学性・物理性・生物性の改善ができ地力向上がはかれることや、家畜ふん堆肥については土壌に合った堆肥の選択、正しい施肥量の算出などについて参加者に質問を交えながら土づくりの重要性について熱のこもった講義をいただきました。

なお、情報提供として当県本部肥料農業課の佐藤職員による「エコレット288」「ふりかけ堆肥eco」「マイブレンド肥料」「けい酸加里」などの土づくり肥料の商品説明や株式会社太陽中四国営業所の西本氏による耕うん爪の紹介もおこなわれました。

参加したアグリクラブ徳島の会員、県関係機関、当県本部職員などの関係者45人は、堆肥を用いた土づくりへの理解を深めました。

※アグリクラブ徳島：徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町の青年農業者が加入できる「仲間づくり」「生産技術・経営能力の向上」「農業・農作物における情報発信」を目的に活動しているクラブ。



甲谷氏による講演の様子



土づくり肥料の説明を行う佐藤職員



耕うん爪の紹介を行う西本氏

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



蓮根のツナマヨあえ



▼材料(3人分)

蓮根 …………… 100g
ツナ缶 …………… 1/2缶
枝豆(正味) …………… 50g

A { マヨネーズ……………大さじ1
めんつゆ(2倍濃縮) ……小さじ1
塩、こしょう……………各適量

▼作り方



① 蓮根は5mm厚さに切り酢水に漬け、2分ほど茹でる。



② 先にAと①を和え、茹でた枝豆、缶汁を切ったツナをさっくりと混ぜる。

POINT

酢水ごと鍋に入れ茹でると白く仕上がります。



料理研究家 HITOMI <http://www.hitomi-cook.com>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー（姫路、加古川、明石の3店舗）講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



その149 ～いち・にい・さん・しいたけ～

◆ドングリのなる樹◆

漢字で「椎茸（しいたけ）」と書くと、茸はキノコのこと。椎は椎の木（しいのき）のこと。椎の木は、ブナ科クリ亜科シイ属の樹木の総称である。小学生の頃、児童館の裏山に登り、神社の雑木林で集めた椎の実（ドングリ）を児童館の先生が煎ってくれて、皆で食べた事を思い出す。

ニックとかあるん知っとる?」「なにそれ」「菌床をペシペシと軽くたたくことで、刺激をあたえて、適度な大きさの椎茸を数多く生やすんじょ」「ナハハッツ、お尻ベッシッ、ベッシッってか」「昔から雷がゴロゴロと多く鳴る時は、しいたけが沢山生えるからにヒントをもらったテクニクらしいじょ」

◆金賞しいたけ◆

徳島県は、日本一の「金賞しいたけ」産地。「えへん。日本一だから金賞じゃな」「ハッツハッツハッツ。原木でなくて、菌床（きんしょう）で作っているからじょ」「えー、きんしょうってなに?てっきり日本一だからと思ってたよ」「菌床は、おがくずや栄養分に種菌を混ぜて固めた20センチ四方ほどのブロックのことじょ。このブロックから椎茸が生えてくるので菌床しいたけじょ」

◆いち・にい・さん・しいたけ、ダー!◆

「そういや、乾燥椎茸でだしをとると、濃厚なうまみが出るよなあ。今は顆粒だしで済ましてるけど、今度乾燥椎茸買ってくるけん作って。頼むわ」「私は、生しいたけの方が好きなんじょ。誰が作るん」「いち・にい・さん・しいたけ、ダー!」

◆四季茸◆

「キノコの中でも、しいたけは1年中発生することから『四季茸（しいたけ）』と呼ばれるんじょ」「この前、釣り友達の菌床椎茸生産者と話したら『一年中はなかなか安定して生えん。でも春と秋はようけ生えてくれるけん、難しいわ』と言うとったわ」「ところで、菌床に刺激を与えて、椎茸の数を増やすテク



交通安全のお知らせ

夜間の交通事故防止について～早めのライト点灯を～

日没時間が段々と早まってきています。夜間になる直前の「薄暮」は周囲の視認状況が刻々と変化するため、危険に気付くのが遅れがちとなります。また、夕方の帰宅時間と重なるため交通事故が多発する時間帯となっていることから以下のことに注意して安全運転をお願いします。

1 早めのライト点灯の推進

徐々に暗くなる薄暮時は、周囲の歩行者やドライバーからは自身の車が見えにくくなっています。早めのライト点灯は、自らの視界を明確にするだけでなく、周囲の通行者に対して、自身の存在を知らせる効果がありますので、概ね日没の30分前を目安に早めのライト点灯を心がけましょう。

2 歩行者等の反射材用品等の活用

歩行者や自転車運転手は、薄暮時や夜間に外出する際には、明るい服装を心がけ、反射タスキや反射シールなどの反射材用品を活用しましょう。反射材用品を着用することで、周囲の通行車両に自身の存在をアピールしましょう。

3 上向きライト（ハイビーム）の効果的な活用

前方をできるだけ見えるようにするには、ヘッドライトをこまめに上向きにする必要があります。

ライトを上向きにすることで、遠くまで光が届くようになるだけでなく左

右の見える範囲も広がり、それだけ早く歩行者等を発見することができます。危険を防ぐことができます。

ライトは上向きが基本ですが、対向車と行き違うときや、ほかの車の直後を通行しているときは、前照灯を下向きに切り替えなければなりません。交通量の多い市街地の道路などでは、こまめに前照灯を切り替えて運転をしましょう。

また、自転車についても、薄暮時や夜間に道路を通行するときは、ライトを点灯し安全運転に努めましょう。

<100m先を照射した状況>



ロービーム



ハイビーム

徳島県警察本部 交通企画課



営農コラム

マルチ、トンネル、べたがけの利用 営農支援課 技術主管 隔山 普宣

秋から春にかけて色々な野菜の播種または定植が行われます。これらの野菜をうまく育てていくため、「マルチ」、「トンネル」、「べたがけ」を利用した栽培について紹介します。

まずは畝の表面を何らかの資材で覆う「マルチ」です。マルチ資材としては、農ポリフィルム、生分解性フィルム、わらやもみ殻などを使う有機マルチがあります。効果としては、地温を調節する、土を固くしない、雑草を防ぐ、土壌水分の保持、肥料の流亡を防ぐ、病気を防ぐ、などがあります。

次に畝をビニールなどの資材でトンネル状に覆う「トンネル」です。透明フィルムを用いて、寒害を防ぐ、生育を進める、露地で栽培できない時期に栽培できる、防虫ネットで被覆して害虫を防ぐ、寒冷紗等で遮光して温度を下げる、などの効果があります。

最も手軽な被覆方法である「べたがけ」は、種まき後の畝や定植後の野菜の上に直接、被覆資材をかけるものです。支柱が不要で通気性がある資材を使うので換気も不要、保温性があるので低温期の生育促進、台風時の強風対策、畝全体を覆えば防虫対策、マメ科野菜の種まき後や冬期のブロッコリーにべたがけすると鳥害が防げま

す。べたがけの被覆資材には、吸湿性があり、保温性が高く、秋から春にかけて使われるパオパオなどの長繊維不織布と保温性は劣りますが、通気性が良いため、年間を通じて使うことができるダイオベタロンなどの割繊維不織布があります。

「マルチ」、「トンネル」、「べたがけ」を組み合わせた春先からの栽培事例は次のとおりです。

ニンジン栽培では、マルチの上に被覆資材を2枚重ねてべたがけするだけで1～3月播種の6～7月どり栽培が可能となります。スイートコーン栽培では、マルチとトンネルを組み合わせると2～3月に播種でき、6月に収穫が可能となります。エダマメ栽培では、マルチ、べたがけ、トンネルの三重の保温をすれば、2月播種の5月どりが可能となり、露地栽培に比べ2か月程度早く播種ができ、収穫期も早まります。なお、3月に播種する場合は、マルチとトンネルだけでよく、べたがけ被覆は不要です。

「マルチ」、「トンネル」、「べたがけ」は被覆することで、寒さ、強風、雨、病害虫などさまざまな障害から野菜を守ってくれるし、生育も良くなります。3つの被覆を組み合わせると露地栽培ではありえない時期の栽培にチャレンジしてみませんか。

総務課

～当県本部野球部員が健闘～

令和4年度全農中国・四国地区野球大会

9月9日～10日の2日間、愛媛県松山市の「坊っちゃんスタジアム(松山中央公園野球場)」において「令和4年度全農中国・四国地区野球大会」が開催され、岡山、広島、愛媛、徳島の4県本部の野球部員や関係者など約70人が参加しました。

開会式では、前年度優勝した広島県本部より優勝旗返還、関岡大会委員長(=愛媛県本部長)のあいさつの後、愛媛県本部の小池二郎選手による選手宣誓が力強くおこなわれ、2日間にわたる熱戦が始まりました。

当県本部野球部は初日、1回戦で愛媛県本部に13-0で敗れましたが、2日目の3位決定戦では岡山県本部に9-6で勝利し、今年度は3位の結果となりました。なお、優勝した広島県本部は、10月13～14日に首都圏近郊で開催される全国大会の出場権を獲得しました。



選手宣誓の様子



試合の様子

～JRT四国放送「STU48のすだちでキュン♡」でPR～ ザすだちを視聴者にプレゼント

徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会は、四国放送のラジオ番組「STU48のすだちでキュン♡」(毎週月曜日23:00～23:40放送)で徳島県産スダチのPRをおこないました。

9月13日の番組収録では、四国放送アナウンサーの野口七海さん、STU48の谷口茉妃菜さん、古川舞佳さんと河野莉奈さんの2人のすだち大使にスダチの魅力を伝えていただきました。また、番組リスナーに徳島県産スダチやザすだちカート缶(飲料)をプレゼントしました。

なお、9月28日からはYouTube「JRT四国放送公式チャンネル」でアフタートークが公開されています。すだち大使の収録の感想やCMの裏話などを聞くことができますのでぜひご視聴ください。



収録風景



番組に出演したみなさん

～職員が国内産地を応援～

国産農産物を内部販売

9月5日、園芸販売課では、コロナ禍による業務需要等の減少などにより、厳しい販売状況となっている産地や農家経営を応援する取り組みとして「群馬県産キャベツ」150kgと「長野県産白菜」200kgの内部販売をおこないました。

職員は「群馬県産キャベツ」と「長野県産白菜」をそれぞれ持ち帰り、自宅で美味しくいただきました。



内販の様子



徳島県本部人事異動

令和4年10月1日付

氏名	コース	職能資格	新職務・職制	旧職能資格	旧職務・職制
檜原 弘典	総合職(徳島)	調査役	出向 ジェイエー徳島燃料サービス株式会社	調査役	本所 耕種資材部 中四国広域農機事業所 徳島農機事務所
國行 亮也	総合職(徳島)	調査役	管理部 企画管理課	調査役	管理部 企画管理課 本所 経営企画部 JA支援課 兼務

「かんきつテラス徳島」

とくしま農林水産
未来人材スクール

徳島かんきつアカデミー

令和5年度

受講生募集!

かんきつ圃場での
充実した現場実習!!

募集要領



めざせ!

次代を担うかんきつ農家

● 研修期間

★中核的人材育成コース … 原則1年間
(令和5年4月～令和6年3月)
講義40日程度、実習120日程度、
農家実習40日程度

★生産技術力向上コース … 選択科目毎に数日程度

● 受講料 ★中核的人材育成コース …… 16,820円

★生産技術力向上コース

Ⅰ 接木と整枝剪定 …… 4,100円

Ⅱ 果実栽培管理 …… 8,200円

・テキスト代、傷害保険料、資格取得にかかる費用は、実費をご負担いただきます
・剪定ばさみ、作業着、長靴など、個人の所有物は各自ご準備下さい
・既納の受講料は還付しません

● 募集人数 両コース合わせて30名程度

● 募集期間 令和4年9月15日(木)～令和5年1月31日(火)
(定員になり次第終了)

中核的人材育成コース

独立就農を目指す方が対象。
1年を通して栽培から加工・販売
までを学ぶコース。
主要なかんきつ(みかん、すだち、
ゆず)の栽培管理技術を学ぶこ
とができます。

生産技術力向上コース

生産技術の習得を目指す方が
対象。
2つの科目から、技術習得したい分
野を選択して学ぶことができます。

応募資格

次の条件を満たす者

- ①令和5年4月1日現在で満18歳以上
- ②県内で就農している又は就農を予定している
又は農業参入を考えている企業等の従業員
- ③徳島県内在住者又は徳島県内移住予定者
- ④県内で就農している又は就農を予定している
又は農業参入を考えている企業等の従業員



0885-42-2545

<https://tonodai.ac.jp/academy/kankitsu.html>

「かんきつテラス徳島」
徳島県立農林水産総合技術支援センター
農業大学校(勝浦)
〒771-4301
徳島県勝浦郡勝浦町大字沼江字中筋11-12

徳島かんきつアカデミー

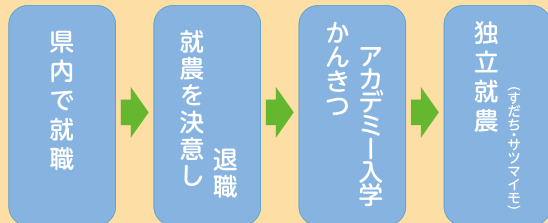
中核的人材育成コース修了生の今



阿南市 Sさん

アカデミー修了後、すだちを栽培するためのハウスを借りられることになり、現在はハウスすだちを栽培しています。

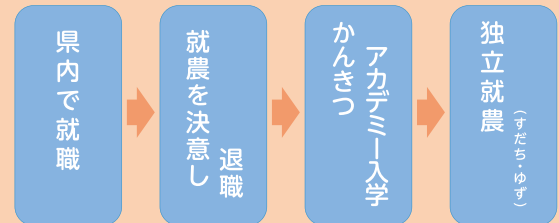
研修のなかで実際に作業することで、一年間の作業の流れがよく分かり、就農後も防除や剪定が一人でもなんとか出来るようになりました。



徳島市 Sさん

アカデミー受講中に農地を見つけることができたので、研修終了後は借り受けたすだち園地で管理作業を行っています。

まだ始まったばかりで草刈や幼木の植え付け作業しかしていませんが、一年間の研修を通して学んだ経験を活かしています。

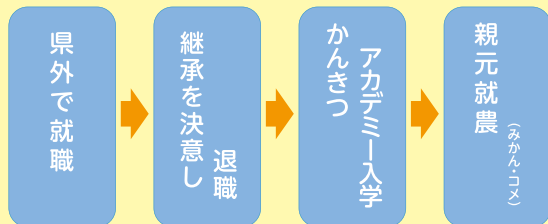


勝浦町 Uさん

アカデミー修了後、親元就農し、みかんの栽培や畑の管理などをしながら、経営継承の準備をしています。

親元就農するので、両親から知識と技術を教わることになります。

感覚に頼った栽培になりがちですが、アカデミーで理論から学ぶことによりそれが解消されました。

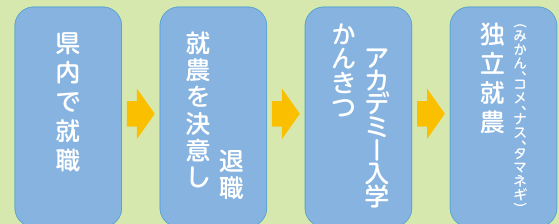


勝浦町 Yさん

アカデミー修了後、親の経営を継承し、みかんを栽培しています。

講義では、病害虫の防除や剪定、施肥、貯蔵方法などの基本的なことから応用まで教わりました。

知識を頭に入れた後、実践する流れで教えてもらえるので、よく理解できました。この経験をこれからの農業ライフに生かしていきたいです。



～かんきつ人材育成・にぎわい交流拠点～

かんきつテラス徳島

Kankitsuterasu Tokushima

アクセス

徳島阿波踊り空港から車で50分
JR徳島駅から車で40分
徳島バス西岡停留所から徒歩15分



徳島県の れんこん



11/8 は徳島県れんこんの日

JA全農とくしま 徳島県蓮根消費拡大協議会



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

